

# 医薬品安全使用ニュース

## 徐放性オピオイド製剤の簡易懸濁・粉碎・分割に関する注意について

### 【当院採用の徐放性オピオイド内服製剤】

○MSコンチン錠 ○オキシドン徐放錠NX「第一三共」 ○オキシコンチンTR錠 ○ツートラム錠  
○ナルサス錠 ○メサペイン錠 ○モルヒネ硫酸塩水和物徐放細粒分包「フジモト」 ○ワントラム錠

### 概要

- 徐放性製剤は、有効成分が一定時間をかけて放出されるよう設計された製剤です
- 急激に血中濃度が上昇し、重篤な有害事象発生の原因となる可能性があるため、徐放性オピオイド製剤を簡易懸濁・粉碎・分割することは避けてください\***

※メサペイン錠、モルヒネ硫酸塩水和物徐放細粒分包の経管投与については別途確認してください

### 注意すべきポイント



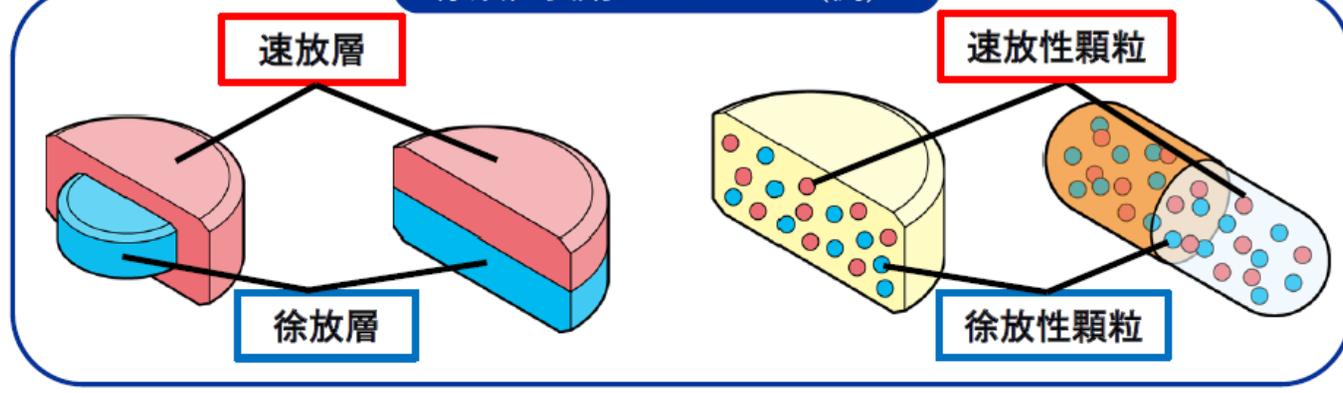
徐放性製剤を粉碎、分割して投与したり、患者が噛み砕いて服用すると、急激に血中濃度が上昇し、重篤な副作用が発現したり、期待する薬効が得られない恐れがあります。

急激な血圧低下

呼吸抑制

意識レベル低下

徐放性製剤のイメージ (例)



- 内服困難の患者に対して簡易懸濁や粉碎を検討・指示・実施する際には、**当該薬剤が徐放性製剤ではないかを必ず確認し、判断に迷った場合には必ず薬剤部へ相談してください**

### 参考資料

- ・医薬品医療機器総合機構 PMDA 医療安全情報 No.65 2023年 3月
- ・医療事故情報収集事業 医療安全情報 No.158「徐放性製剤の粉碎投与」
- ・DIニュース2024年1月1号 がん性疼痛治療に用いられるオピオイド鎮痛薬一覧(当院採用薬、内服・外用) ver6.0